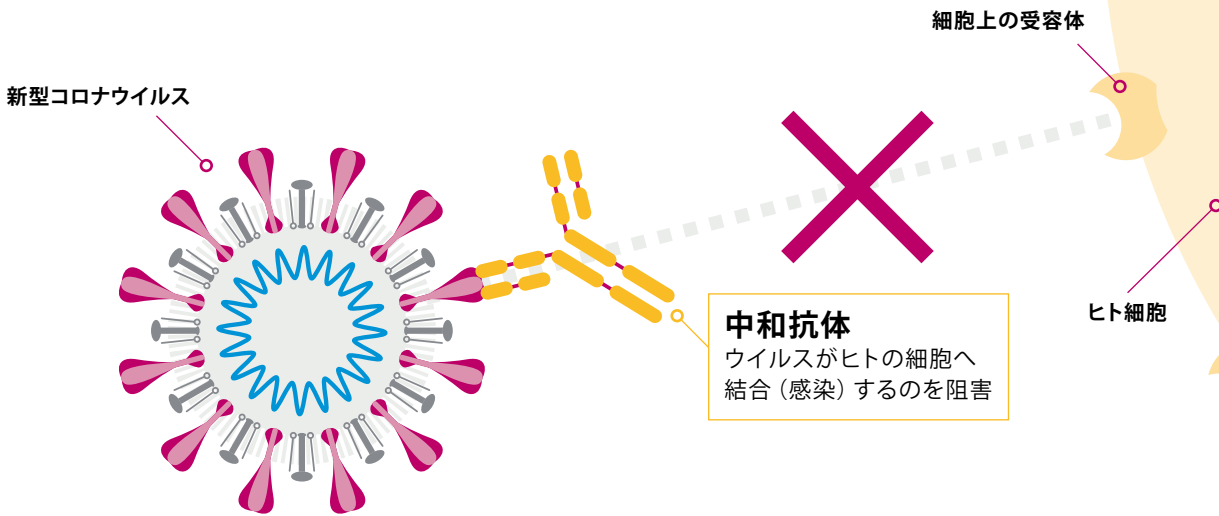


ワクチンを接種して得られる中和抗体って何？

新型コロナウイルスと、ヒトの細胞が結合する箇所を阻害する抗体です。
新型コロナウイルスへの感染や重症化を防ぐ効果が期待されています。

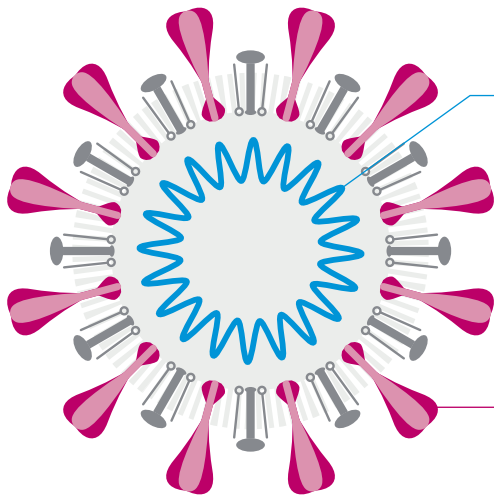


世界中で開発が進む新型コロナウイルスのワクチンは、
新型コロナウイルス表面のスパイクタンパク質に対する抗体を誘導します。
中和抗体の活性はスパイクタンパク質に対する IgG 抗体の値と関連すると考えられています。

抗体検査で調べられること

抗体はウイルス構造のいくつかの部位に対して産生されます。
抗体検査では特定のタンパク質に対する抗体をどれくらい持っているのか調べることができます。

新型コロナウイルスの構造



ヌクレオカプシドタンパク質 (N)

ヌクレオカプシドタンパク質に対する抗体 (IgG 抗体 (N)) の保有は、新型コロナウイルスに感染したことがある可能性を示唆します。



IgG 抗体 (N)
過去の自然感染を示唆

スパイクタンパク質 (S)

スパイクタンパク質に対する抗体 (IgG 抗体 (S)) は新型コロナウイルスに感染あるいはワクチン接種により中和抗体が産生された可能性を示唆します。



IgG 抗体 (S)
中和抗体が産生された可能性を示唆

新型コロナワクチンを接種してからの検査する時期の目安

感染歴がない方、2回目接種後の1～4週間後以降

感染歴がある方、接種前、1回目接種後の1週間後、2回目接種後の1～4週間後以降

検査費用

- 1) IgG抗体(S) 5,500円(税込) ワクチン接種あるいは感染による中和抗体を調べる。
- 2) IgG抗体(N) 5,500円(税込) 過去の感染有無を調べる。
- 3) IgG抗体(S) + IgG抗体(N) 9,900円(税込) 両方の抗体を調べる